

# 専門高校における職業教育の実践例② ～地域産業の担い手育成プロジェクト(熊本県)～ (卒業後それぞれの職業に就き、地域の産業・社会を担う人材の育成)

熊本県立菊池農業高等学校、鹿本農業高等学校、阿蘇清峰高等学校の取組

## 事業内容

- 生徒の現場実習  
望ましい勤労観、職業観を醸成するために年間を通じた長期の実習を週1回、年間14回程度実施。
- 農業経営者の実践的指導  
第6次産業的な先進的な視点での知識・技術等の幅広い授業を展開する。
- 教員の農業経営者等での技術研修  
農業経営者での技術研修等を実施し、総合的・複合的な指導力や研究開発能力を高める。
- 地域資源を活用した商品開発等共同研究  
地域資源を活用した商品開発等共同研究を充実させる。

## 将来像

- 地域の農業に貢献する実践的農業技術者・地域リーダー
- 地域農業界と連携・協働した共同研究等による地域活性化
- 教員の総合的な指導力及び研究開発能力の向上

## 3年後の自立化

- 農業関係高校12校での熊本版農業経営者等人材育成デュアルシステムの導入
- 「農業経営者育成プログラム」の定着と継続した人材育成

## 平成20年度の達成目標

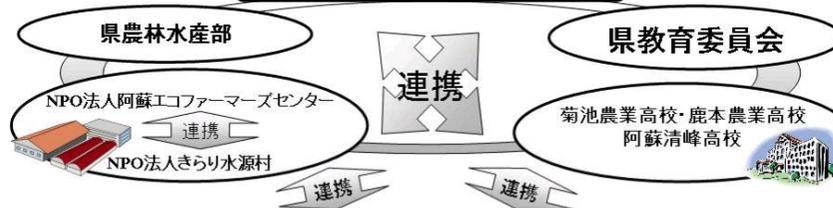
目標	実績
①生徒の現場実習の日数 : 14日以上	①3～14日 ※学校によりバラツキが生じた。
②農業経営者等による特別授業の満足度: 80%以上	②90.8%
③地域資源を活用した新商品等共同研究と地域課題解決への取組: 1校1開発以上	③1校1開発 菊池農業高校(ヤーコンソーセージ) 鹿本農業高校(コメロンパン) 阿蘇清峰高校(湧水を活用したイチゴ栽培の基礎技術)

## 地域産業の担い手育成プロジェクト(熊本県農と食の人材育成プロジェクト)

- ▶地域農業に貢献する実践的農業技術者・地域リーダーの育成
- ▶地域農業界と連携・協働した共同研究による地域活性化
- ▶教員の総合的な指導力及び研究開発能力の向上



## 人材育成連携推進委員会



## 農業経営者、農業法人等

	各校共通の取組	特色ある取組
菊池農業高校	●生徒の現場実習	文部科学省指定農業経営者育成校として人材育成
鹿本農業高校	●農業経営者等による特別授業	農業経営者等と連携した新商品開発(米粉食品等)
阿蘇清峰高校	●教員の農家等での技術研修 ●地域資源を活用した新商品の共同研究 など	湧水等を活用したイチゴの周年栽培、「竹」の有効活用に関する研究

(出典)「文部科学省、農林水産省連携事業『地域産業の担い手育成プロジェクト』平成20年度 実施報告書(1年次)」より作成

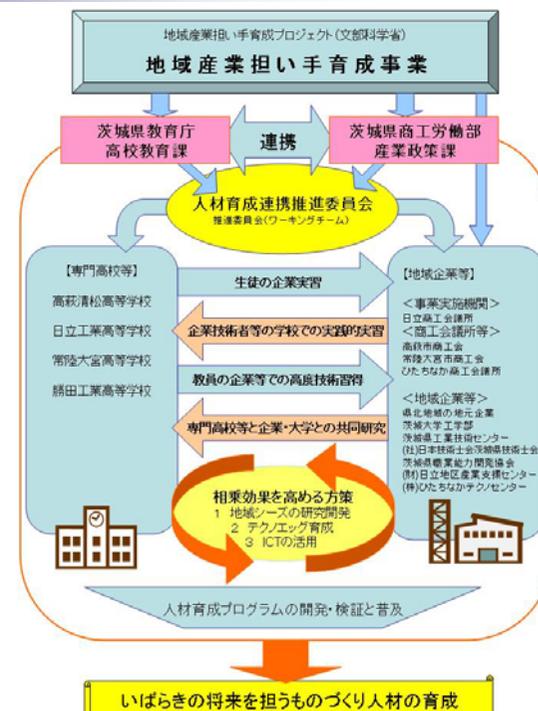
# 専門高校における職業教育の実践例③ ～地域産業の担い手育成プロジェクト(茨城県教育委員会・日立商工会議所)～ (体験的な学習や地域企業と連携を図った現場での長期間の実習など、実践的な教育活動を積極的に実施している事例)

## 取組校

茨城県立日立工業高等学校、茨城県立高萩清松高等学校  
茨城県立常陸大宮高等学校、茨城県立勝田工業高等学校

## 事業の概要

県内屈指の工業地帯である日立地域を核として、県北の4商工会議所等が、地元の工業高校等及び県教育委員会と連携し、地域のものづくりを担う人材育成を図るため、デュアルシステムを核とした生徒の企業実習、ICタグや省エネカーの研究など地元企業と一体となった事業を展開している。また、これまで繋がりの薄かった4校が、共同で小学生向けのイベントや、ワークショップを実施するなど、取組を地域全体に広げる試みを推進している。



## 〈取組校の例〉 茨城県立日立工業高等学校

### ●内容

日立工業高等学校の2年生の生徒17名が、地元企業で1年間にわたって技術実習を行った。生徒の希望に即した実習が積めるように配慮されるなど、将来の進路に役立つ技術の習得努めた。変電器製造業の茨城電機工業(株)では、実際に製品を作る責任を伴う作業のほか、仕組みへの理解や達成感を味わうため、小型機器を独自で作る過程や社会としてのルール・職業観・勤労観についても熱心な指導がなされる。

### ●成果

実習は週1回継続的に実施していることから、生徒の技術・技能・職業観の向上や、成果発表会に見られるコミュニケーション能力の向上などがあった。また、生徒及び高等学校との受け入れ企業に良好な関係が築かれつつあり、実習以外の学校の取り組みにも企業の協力が得られるなど高等学校と地元企業にとって、新たな協力関係が生まれはじめている。この取り組みは、事業全体の核となる取り組みで、茨城県の広報TV番組でも紹介された。



(出典)「平成20年度 中小企業ものづくり人材育成事業(工業高校等実践教育導入事業)に係る成果事例集」(経済産業省中小企業庁)より作成

# 専門高校における施設・設備等を効率的・効果的に活用している例

## 専門高校の拠点校整備(広島県教育委員会)

### 県立高等学校再編整備基本計画(関連部分)

#### ●拠点校の整備

農業・工業及び商業の各学科については、地域的なバランスを考慮しながら拠点校化し、普通科や総合学科も含めた本県における職業教育のセンター的な機能を持たせるため、学科の改編を含めた教育内容の見直しを行うとともに、最新の施設・設備を重点的に整備

### 拠点校の目指す教育

#### ●生涯にわたり学び続ける意欲をもったスペシャリストの育成

- 産業の高度化に対応した、専門性の習得
- 高度な資格取得
- 上級学校への進学
- 県内企業への人材供給
- 県内の職業教育のセンター的役割

学校名	整備年度	整備内容	センター的役割例
広島工業	平成16	レーザー加工機整備 3次元測定器整備 等	・工業高校生等対象の技術講習会 等
西条農業	平成17	動物科学棟建築	・動物バイオに係る研修会 等
福山工業	平成18	レーザー加工機整備 NC旋盤教育システム 等	・地域の高校生等に拠点校設備公開 等
庄原実業	平成19	園芸用温室及び実習棟建築 太陽光発電システム設置工事	・他校への先端技術等の提供
広島商業	平成19	販売実習室及び販売実習のための付属設備整備	・中学校出前授業等
尾道商業	平成20	販売促進実習のための模擬オフィス等の整備	・中学生の販売実習等

## 県を越えた同一学科の連携(栃木県と茨城県の水産高校)

### 連携校の現状

- 栃木県立馬頭高等学校
  - ・ 全国唯一の淡水魚を主とした栽培漁業を行う水産科を有する普通科との併設校
- 茨城県立海洋高等学校
  - ・ 本科4クラス(海洋技術科、海洋食品科、海洋情報科、海洋工学科)及び専攻科を有する水産科単独校
  - ・ 全国でも有数の水深10メートルの潜水プールを整備。

### 連携の内容等

#### 茨城県の施設・設備を活用した馬頭高等学校の実習内容

#### ●水産基礎の基礎実習(1年次)

##### 1 目的

船と海に対する理解を深めさせるとともに、河川では実施できないカッターを主とした実習を行うことにより集団の一員としての協調性を養う。

##### 2 内容

カッター、潜水、ロープワーク

##### 3 使用施設・設備

茨城県立海洋高等学校所有のカッター、潜水プール、潜水機材等

#### ●潜水実習(3年次)

##### 1 目的

ダイビング(潜水)に関する基礎的な知識と技術についての指導を行うことで、ダイビングの概要を理解させ、栽培漁業や海洋環境等に生かす術を身に付けさせる。

##### 2 内容

高等学校潜水検定3級(民間のBasic Diverクラス)の内容に沿って実施。

##### 3 使用施設・設備

茨城県立海洋高等学校所有の潜水プール、潜水機材等

# 不登校や中途退学を経験している生徒等の受入れに 対応している専修学校高等課程の例

## 【生蘭学園生蘭高等専修学校】 神奈川県綾瀬市

(取組内容)

- 「中学校時代欠席が多かった生徒や学習面でつまづきのある生徒を対象にした「適応コース」を設置。同コースにおいて、少人数制の個々の状況・特徴に応じた多様なクラスを開設。
  - ・適応クラス・・・1クラス16名～20名の少人数で、対人関係が苦手であったり、中学校時代欠席が多かった生徒が、基礎学習から応用力まで力を伸ばすことを目標とする。
  - ・学習開発クラス・・・1クラス16名～20名の少人数で、基礎学習の定着を目標に、一つ一つの学習を丁寧に実施する。
  - ・基礎クラス・・・1クラス25名～30名の普通学級。学習の基礎的内容の復習から開始し、着実に基礎力を高める。

## 【岩谷学園高等専修学校】 神奈川県横浜市

(取組内容)

- 「中学校で欠席が多かった」、「コミュニケーションが苦手」等の特徴をもつ生徒のために、生徒が学校の学習・生活の流れにスムーズに乗れるよう、放課後学習・個別指導の場(「アップルーム」)を設置・常時開放し、サポートを実施。
- 一人一人の進路・目標を見据え、生徒の基礎学力の定着や技能修得(各種検定・資格試験)に向けた特別授業(「ダブルアップ」)を実施(週1回)。
- スクールカウンセラーを配置し、生徒の学校生活における悩みや保護者からの相談に対応。

## 【武蔵野東技能高等専修学校】 東京都武蔵野市

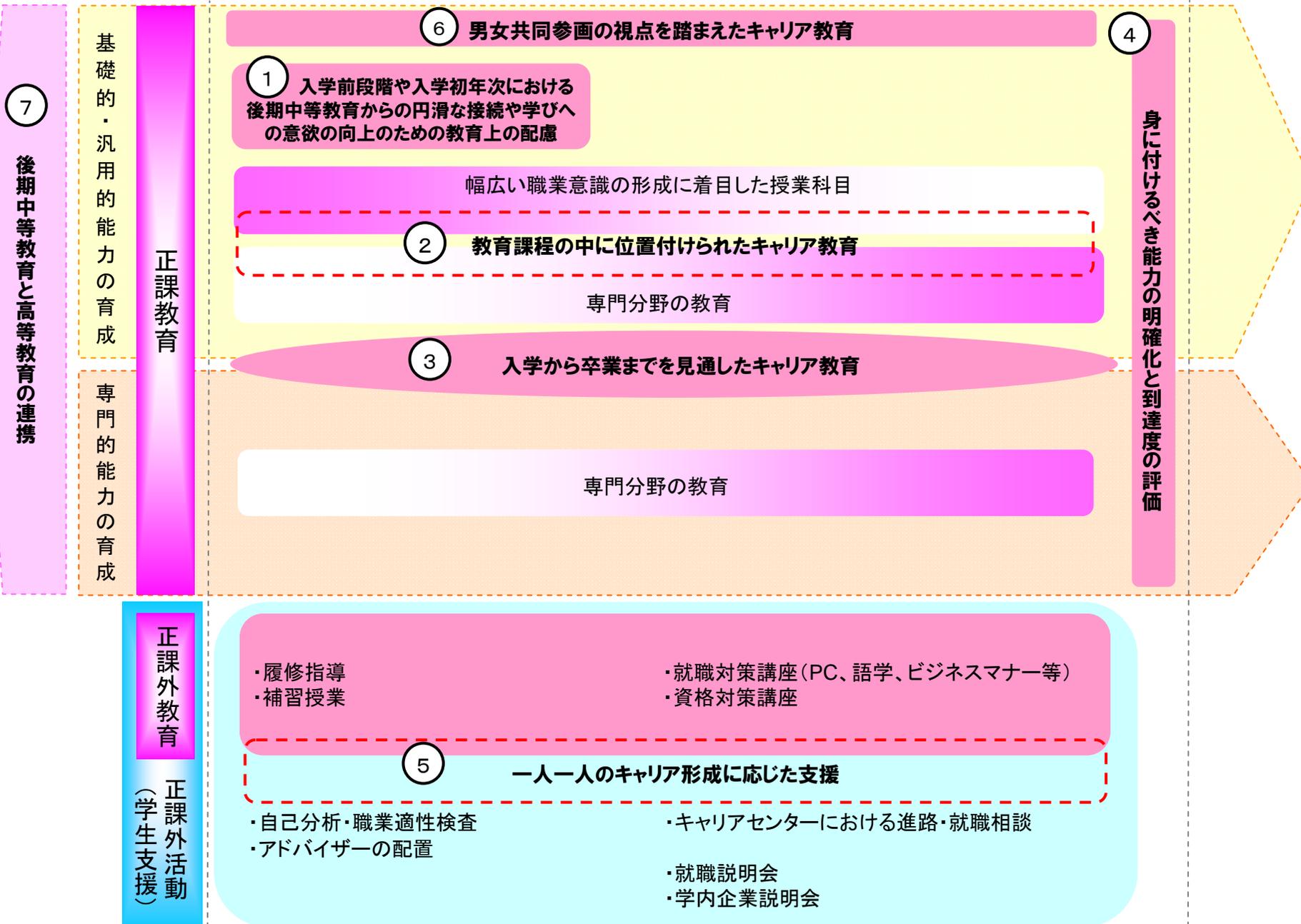
(取組内容)

- 編入学試験、編入学枠の設定など、高等学校等中退者向けの受入れ体制を構築。
- 1クラス35人前後、かつ、習熟度別の学級編制。1クラスに担任・副担任の2人の教員を配置し、生徒一人一人の個性・適正を踏まえつつ、きめ細やかな指導を実施。

# 高等教育段階におけるキャリア教育の取組

入学

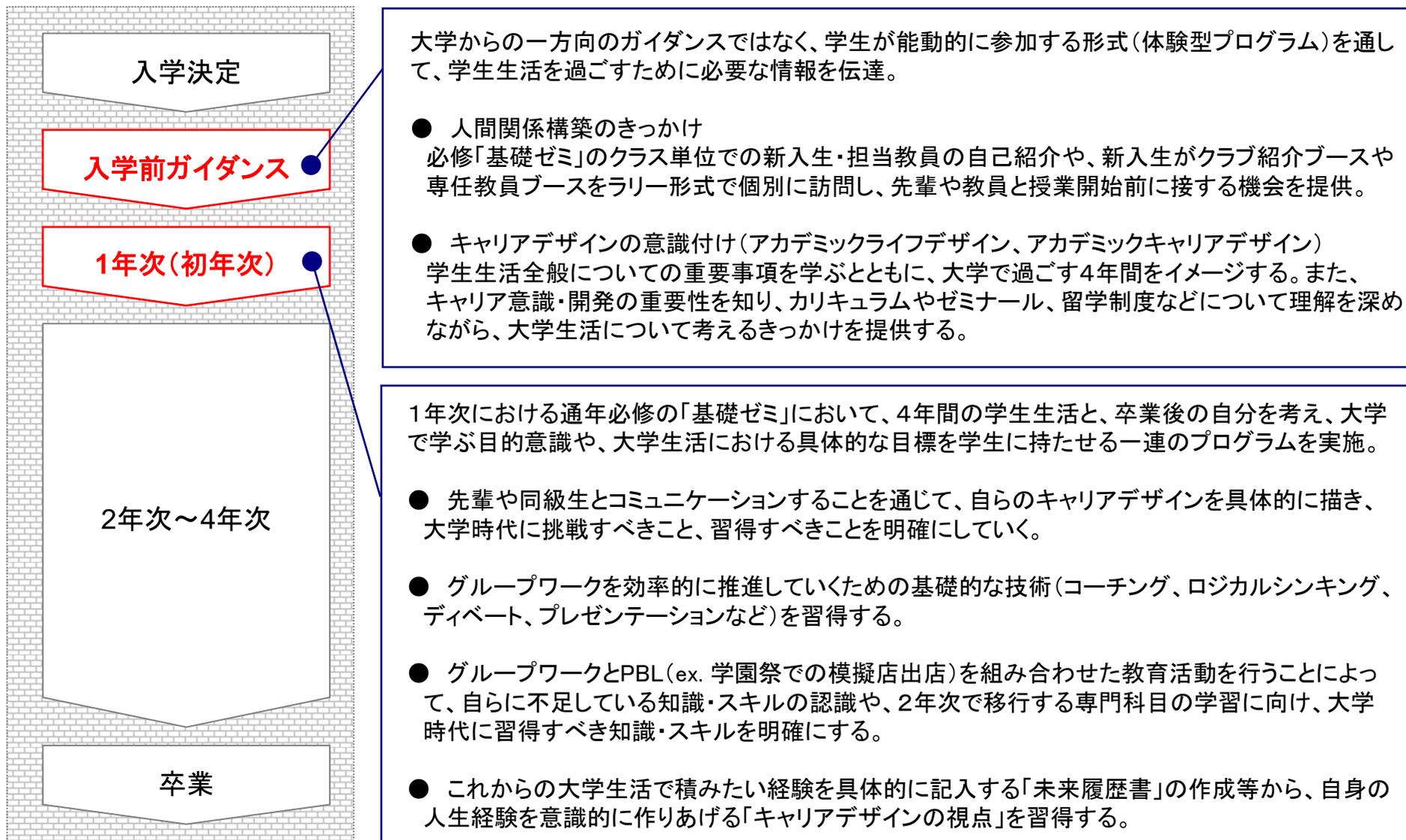
卒業



## 【1】入学前段階や入学初年次における後期中等教育からの円滑な接続や学びへの意欲の向上のための教育上の配慮

入学初年次において学生自身に学生生活と卒業後の自分を考えさせ、高等教育機関で学ぶことの目的意識を持たせることなどにより、キャリア形成を行う基盤を培うための取組を実施。

(例) 嘉悦大学



# 【1】入学前段階や入学初年次における後期中等教育からの円滑な接続や学びへの意欲の向上のための教育上の配慮

入学者の学習意欲の醸成、学習習慣の確立のため、高大連携校の高校教員と組織した研究会を設置し、問題意識の共有と解決策の検討を行い、大学での学習にスムーズに移行できるよう入学前教育を実施。

(例) 湘北短期大学

## ●コミュニケーションリテラシーの開講

企業・高校教員に対するアンケートの結果も踏まえ、将来社会人・職業人として必要な能力として、「コミュニケーション能力」が学生に特に求められていると認識。

また、入学者の学力低下の背景として、大学入学時の学ぶ意欲、学ぶ習慣が希薄であるという課題認識。また、早期に進学を決定した高校生の学習意欲維持について、高校教員との問題意識を共有。

そこで、平成19年度から、学生が高い目標意識の下に学ぶための「動機付け」を行うとともに、将来社会人として仕事をする上でコミュニケーション能力が重要であることを理解するため、連携高校の推薦入試合格者を対象として、高校在学中に「コミュニケーションリテラシー」を開講している。

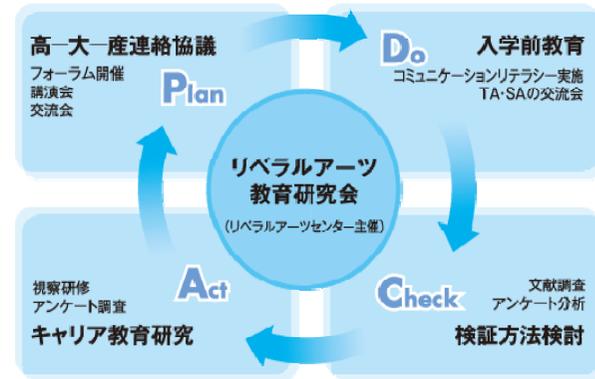


## ●リベラルアーツ教育研究会の設置

平成18年度より、連携高校の教員及び大学の全学科からの教職員が参加する連携協議会を設置しており、高校教育の実情を深く理解した上で、短期大学教育を最適化する取組を実施。



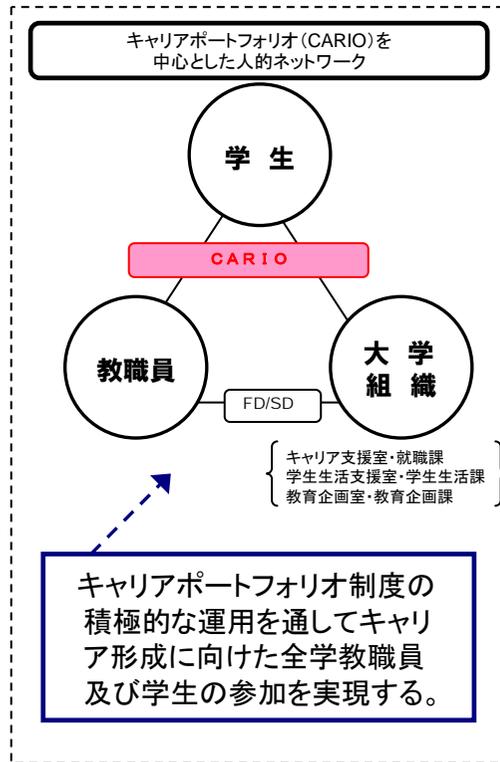
また、こうした取組も踏まえ、新たに企業人も含めたリベラルアーツ教育研究会活動を準備中。人材育成に対する要望や課題認識の共有等を行い、教育改善につなげていくための取組を行う。



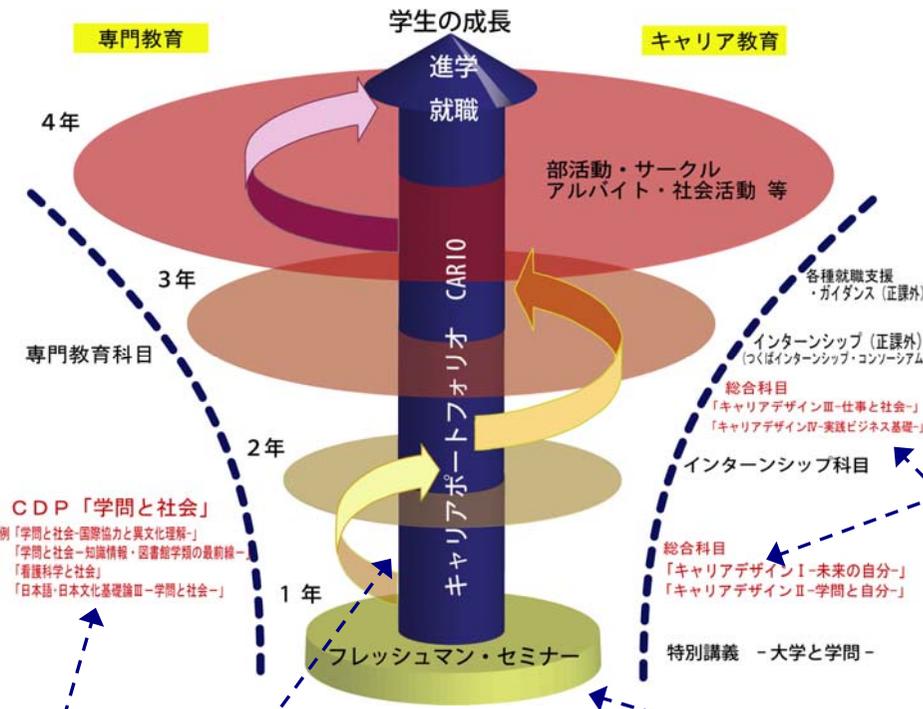
## 【2】教育課程の中に位置付けられたキャリア教育

教育課程全体において、専門教育とキャリア教育の融合を目指して、社会人・職業人への移行期としての、大学生生活を有意義に過ごすための各種プログラムを展開することを通じて、教職員・学生の人的ネットワークの拡充・活用を推進。

(例)筑波大学



### 専門教育とキャリア教育の融合プログラム



●**キャリアデザイン (CD) I ~ IV**  
キャリア形成のための力を身に付ける全学対象科目。キャリアポートフォリオを使用し、グループワークを導入している。就職活動の準備ではなく、大学生活や、大学で学ぶ専門領域が自分のキャリア形成にとってどんな意味を持つのか、ということを考えさせ、年次進行に従って

- ・CD I 「未来の自分」
- ・CD II 「専門分野をもつということの意味」
- ・CD III、IV 「仕事や社会との接点」

について学んでいく。

#### ●「学問と社会」

専門教育の一環として開講される科目。内容は教育組織ごとに異なるが、それぞれの分野における専門的学問領域と社会のつながりについて考える機会を提供される内容となっている。この科目を学ぶことを通じて、その専門分野を修めることが自分にとって、また社会にとってどのような意味を持つのかを考える機会となる。

#### ●キャリアポートフォリオ (CARIO)

学生が大学生生活の記録を綴り込むファイル。入学時に全学生に配付され、各学生が経験からの気づきを手書きで記録し、集約する過程において、自己の外在化や客観視、キャリアに関する情報の集約、目標の設定や再検討・再構築の機能が発揮されることが期待される。

#### ●フレッシュマン・セミナー

全教育組織で必修の初年次教育科目。新入生がスムーズに大学生活に入るための指導、いわゆる受身の学習から主体的自覚に基づく学問への転換等を目的とした授業である。また、キャリアポートフォリオを使った授業プログラムも担当教員の裁量において行われる。

### 【3】 入学から卒業までを見通したキャリア教育

卒業後を見通したキャリアデザインに基づいたキャリア形成のため、入学時から各学年での学習成果を着実に積み上げることで、卒業後の進路実現と共に社会人・職業人として必要な能力を自ら培っていく取組を実施。

(例) 金沢工業大学

ポートフォリオシステムを活用して、正課内外における教育活動や、その達成度を記録し、自己点検評価を行う。また、自分の将来の目標設定と、その達成に向けた具体的な行動目標設定、行動目標とその結果の明確化によるキャリアデザインの自己管理等を行う取組を実施している。

キャリアポートフォリオは、卒業後を見据えて、1年次から自立・自立的に各自の可能性を広げる行動を開始することが求められること、一度描いたキャリアデザインは時間とともに変化し、人生の節目ごとに描き直す必要があることなどを念頭に設計されている。具体的には、社会に出た後も自己成長型のキャリアデザインとキャリア形成を進めることができるようにするため、自分史、自己実現目標などを記録するワークシートを用いて、随時それを各自の自己点検に活用することを習慣化するレベルで身に付けさせ、目標への接近度や達成度を確認しながら次の行動設計に反映させる力を育成する取組を行っている。

【キャリアポートフォリオ(ワークシート) イメージ図】

キャリアデザインシート① 在学中	キャリアデザインシート② 卒業後
<p>1) ①大学での勉強について、得意科目は何ですか? ②その得意科目は主にどんな勉強方法を取りますか? ③大学での勉強について、不得意科目は何ですか? ④その不得意科目は主にどんな勉強方法を取りますか?</p> <p>① 工業科目 ② 授業で復習する。 ③ 英語・数学 ④ 授業以外で勉強する。</p> <p>2) ①クラブ活動、プロジェクト活動など、大学に關係する活動で ②その活動を通してどのようなことが得られると思いますか?</p> <p>① フォーマルカープロジェクト ② ・自動車の知識・自動車の設計から製作までの流れ・車の運</p> <p>3) ①在学中にチャレンジしようと思う資格は何ですか? ②その資格を取得するためにどのような計画・行動をしますか? ③資格に挑戦することによってどのような人間力がつくと思いますか?</p> <p>① 機械設計技術者3級、CAD利用技術者試験、実用英語検定 ② 試験までに何回練習も勉強できるように前から準備しておく ③</p>	<p>1) ①理想としている人は誰ですか? ②その理由は何かですか? ③その人に近づけたい何を努力する必要がありますか?</p> <p>① 湯川伸太郎さん ② 私が将来やりたいことをやっている人だから。 ③ 専門科目をしっかり理解すること、フォーミュラカープロジェクトで積極的に活動し、車の設計開発・製作をしっかり経験すること。</p> <p>2) ①10年後どんな生活をしていきたいですか? ②そのためにはどんな努力が必要ですか?</p> <p>① 自分自身の夢を思い求めて一生懸命仕事をしていきたい。 ② 大学4年間、大学院3年間で夢を叶えられる知識と技術を身につけたい。</p> <p>3) ①好きな言葉を書いてください。 ②その言葉に込められた、あなたが過去に行動した事柄を具体的にあげてください。</p> <p>① 人知らずよし、知らずよし、損は味なし ② 高校の部活動で先生がいない時は、ほかのメンバーは練習メニューをいり加減にやっていたが、私はその先のこと考えて真面目に取り組んだ。</p>

